

パイルロック

日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43

TEL 0467-79-5711 FAX 0467-79-5477

URL <http://www.ncpaint.co.jp/> mail info@ncpaint.co.jp

【販売代理店】日油商事株本社 (TEL.03-5789-8201、関東・東北・信越・北海道・マレーシア担当)、日油商事株大阪支店 (TEL.06-6457-2605、近畿・中国・四国・東海・北陸・九州・沖縄・シンガポール・タイ・ヴェトナム・台湾・中国担当)、Handelsonderneming Jan van Meever B.V. (TEL.++31 (0) 183-358383、イギリスおよびEU諸国担当)



パイルロック使用例：河川内への橋脚施工

概要

鋼矢板工法は止水を伴う多くの工事に広く使用されている。

しかし鋼矢板だけでは十分な止水性を得られない場合がある。「パイルロック」は、鋼矢板の止水性を高めるために開発された止水材である。

「パイルロック」は鋼矢板の継ぎ手に塗布することにより護岸工、締切り工、廃棄物処理場工、根切り工、貯水池の止水工などで鋼矢板の止水効果を著しく向上できる。

「パイルロック」には「パイルロック速乾型」、「パイルロック NS-v」、また姉妹品の「ケミカシート」があり施工対象・環境・目的により使い分けができる。

各タイプの特長と使用方法

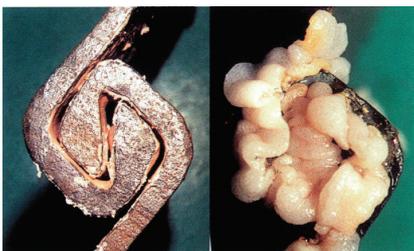
鋼矢板継ぎ手部の浮き錆び、土砂などを除去しパイルロック各タイプを塗布。

「パイルロック速乾型」：溶剤型で使いやすく幅広い工事に適応。開缶し均一に攪拌、気候によりシンナーで希釈。規定量を継ぎ手部に流し込み刷毛等で継ぎ手部内外に塗り広げる。常温で1昼夜 (16Hr) 養生・乾燥。

乾燥後水に浸漬すると数時間で膨潤を始め、24Hr 後には淡水で約20倍、海水で約6倍に膨潤。

パイルロックの膨潤状態

鋼矢板の置き方の例



浸漬前

浸漬後



「パイルロック NS-v」：無溶剤型で主に永久用途。

硬化促進剤を添加、十分に攪拌し規定量を継ぎ手部に流し込む、塗り広げる必要はないが塗布範囲端面にガムテープ・粘土等で堰止め。常温で1昼夜 (16Hr) 養生・乾燥。

●規定塗布量 (鋼矢板継ぎ手部1m当たりの塗布量：両サイド)

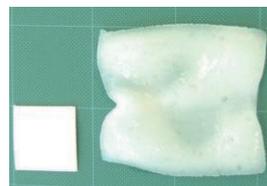
鋼矢板型式	「パイルロック速乾型」	「パイルロック NS-v」
Ⅲ・Ⅳ型	0.4kg	0.2kg

●耐水圧 500kPa [5kgf/cm²] (水深50m相当)

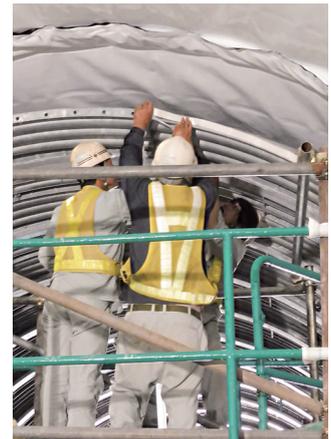
「ケミカシート」：シート化した貼るタイプの止水材。塗布面の水分、油分、浮き錆びを除去しローラー等で圧着。



ケミカシート荷姿



ケミカシート浸漬前後



ケミカシート施工例

荷姿

- ・パイルロック速乾型 18kg
- ・パイルロックシンナー 16L
- ・パイルロック NS-v 16.5kgセット (硬化促進剤付属)
- ・ケミカシート 2mm厚品 (幅4cm) 10m巻